

東北海区沿岸水温予報(2009年)

海域	経過 (3~5月)	現況(6月上旬~ 6月中旬)	見通し (6~8月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水研発表)	太平洋定線観測結果 3月 津軽暖流域の各層水温は、0m層で高め、50m、100m層ではやや高め、津軽暖流の東方への張り出し位置は東経142度45分付近までで平年並み。 定地水温(平年差) 3月:平年並 4月:平年並~やや高め 5月:平年並~やや高め	太平洋定線観測結果 6月 津軽暖流域の各層水温は、0m層でやや低め、50m及び100m層ではやや高め、津軽暖流の東方への張り出し位置は東経142度46分付近までで平年並み。 日本海定線観測結果 6月 各層水温は、0m層でやや低め、50m及び100m層では高め、対馬暖流の勢力はやや強め~強めである。 定地水温 6月第1半旬:平年並 6月第2半旬:やや低め 6月第3半旬:やや低め	津軽暖流域の水温は0m層ではやや低め、50・100m層ではやや高めで推移する。 津軽暖流の東方への張り出しは平年並~やや東偏する。	6月定線観測結果 0m層水温は、太平洋・日本海ともにやや低め、50・100m層はやや高め~高めに推移。 津軽暖流の張り出し位置は平年並、津軽暖流の勢力はやや強め~強め。 定地水温(平年差) 6月第2半旬よりやや低めで推移している。	特になし
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	3月 表面: 県北及び県中北部40海里以東、県南部40海里以西で平年並み。県北50海里、県中北部30海里以西、県中南部10海里以西および県南部50海里でやや低め、県中北部40海里以東、県中南部30海里以東で平年並み~やや高め。 100m深: 県中北部40海里以東及び県中南部30~40海里でやや高めのほかは、全域で平年並み~やや低め。 4月 表面: 県南10海里内で平年並みのほか、やや高い~極めて高い。 特に、県南20海里以東及び県中南部5海里以東、県中北部10海里、40~50海里で極めて高い。 100m深: 県南40海里以東、県中南部30海里、県中北部50海里以東で極めて高い~高いほかは、やや高い~平年並み。 5月 表面: 距岸10海里内及び県北部で平年並み~やや高めのほか、やや高め~極めて高い。特に、県中北部、県中南部40海里以東で極めて高い。 100m深: 距岸10海里内及び県北部、県中北部、中南部20~30海里で平年並み~やや高め。県中北部、中南部40海里以東、県南部20海里以東でやや高め~高めとなっている。	6月 表面: 県北部沖合50海里から県南部沖合30海里にかけてやや高め~高め、県北部沖合10、40海里及び県南部沖合20海里付近でやや低め~低めのほかは、平年並となっている。 100m深: 県北部10海里以内はやや低め~平年並み。県中北部から県南部10海里以内は平年並み~やや高め。県北部沖合10~40海里でやや低め、県中北部20海里から県南部20海里にかけてやや低め、県中北部沖合40海里以東、県中南部30海里以東、県南部40海里以東でやや高め~高めとなっている。	県中部以南の沖合でやや高めのほかは平年並と予測	6月の定線観測結果では、沖合30~50海里以東に北上暖水、県北部に親潮系冷水が認められており、表面の平年偏差は県北部沖合50海里から県南部沖合30海里以東にかけてやや高め~高め。また、100m深の平年偏差は、県中北部沖合40海里以東、県中南部30海里以東、県南部40海里以東でやや高め~高めとなっている。 さらに、100m深水温予測によれば7月上旬から中旬は県中部以南の沖合でやや高めのほかは平年並みの見通し。	3月から確認されていたキタミズクラゲは、6月には、かなり減少したが依然、定置網等への入網が確認されている。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	4月の表面水温は142°30'E付近で7~12台となり、100m深では沖合海域において5~11台になった。平年との比較では、表面水温、100m深水温とも雄勝沖合(38°30'Nライン)から亘理沖合(38°Nライン)にかけて、沿岸海域では平年並みかやや高め、142°30'E付近の海域では5~6高めとなった。 5月の表面水温のうち142°30'E以西の海域では11~17台、沖合海域142°30'E以東は15~17台となり、100m深水温については8~11台となった。 平年との比較では表面水温は1~6高く、100m深については1~3高く、特に142°E以東では極めて高い水温が観測された。	6月の表面水温は142°30'E以西の海域では11~17台、沖合海域142°30'E以東の海域では16~17台となり、100m深水温については5~8台となった。 平年との比較では表面水温は平年並み、100m深水温については142°E~142°30'Eの海域では1~2低く、やや低い~低いとなり、その他の海域では平年並みとなった。	100m深水温について、142°E以西の沿岸海域では「平年並み」で推移する。 142°E以東の沖合海域(38°30'Nライン周辺)では「やや高い~極めて高い」で推移する。 亘理沖合(38°Nライン)の142°50'E以東の海域では「平年並み~やや低い」で推移する。 気仙沼沖合(38°50'Nライン)の142°30'E以東の海域では「極めて高い」で推移する。	「沿岸定線データを用いた宮城県沿岸海域の海況予測モデル」によって海況予測を実施した。(2009年7月について、類似年は1975年と1985年であった。)	特になし
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試発表)	3月: 親潮系冷水が本県沖40~50海里付近を南下した。本県沖50海里以内における100m深水温の平均値は平年よりやや低めであった。 4月: 親潮系冷水が本県北部~中部海域の40~50海里付近を南下した。一方で、南部海域では沿岸域から沖合域にかけて黒潮系暖水の波及がみられた。 本県沖50海里以内における100m深水温の平均値は平年より低め~高めであった。 5月: 黒潮系暖水が沖合域から本県海域に波及した。一方親潮系冷水の南下傾向は前月より弱く、沿岸域にみられた。本県沖50海里以内における100m深水温の平均値はやや低め~高め。	前月に続き、黒潮系暖水の波及が本県南部と沖合域から波及している。また、本県沖合30~60海里には親潮系冷水の弱い南下がみられる。 本県沖50海里以内における100m深水温の平均値はやや低め~やや高め。	県北海域の沿岸部では平年並み~やや低め。他の海域では平年並み~やや高めの見通し。	5月以降、南部海域と沖合域からの黒潮系暖水波及と、北部沿岸海域における親潮系冷水の弱い南下が継続しており、この傾向が当面続く予想されるため。	特になし

<p>常磐南部～鹿島灘(茨城県沿岸; 茨城水試発表)</p>	<p>3月:沿岸域には南方から黒潮系暖水の波及があった。黒潮は犬吠埼沖から離岸で推移した。なお、3月の海洋観測は荒天で欠測が多く、水温および年間偏差は記載しない。 4月:沿岸域に暖水渦、その沖には冷水渦が形成された。そのため沿岸域の水温は高めとなった。黒潮は接岸傾向で推移していたが下旬に離岸した。 表面水温:15 ~20 「やや高い」～「極めて高い」 100m深水温:7 ~18 「低い」～「極めて高い」 5月:上旬に、常磐北部海域に分布する海水が本県北部沿岸域に差込み、前月に比べて降温した。一方でその沖合域では黒潮系暖水が沿岸方向へ張り出して、両者の間に強い潮目が形成された。中下旬にごく沿岸域の表層付近で急激な水温の低下現象がみられた( )。また、沖合域からの暖水の張り出しが弱まり、強い潮目は解消した。黒潮は上旬に接岸し、その傾向を維持した。 表面水温:14 ~22 「平年並み」～「極めて高い」 100m深水温:6 ~19 「低い」～「極めて高い」 南西風が連吹したことによる湧昇現象であると考えられる。</p>	<p>本県北部沿岸域を中心にして、常磐北部海域から流入している混合水が広く分布している。沿岸垂表層域は前月に比べて大きく昇温し、平年と比べても高めとなっている。黒潮は犬吠埼東方沖約50マイルを北東方向へ流去しており、そこから黒潮系暖水が北上している。 表面水温:15 ~22 「やや低い」～「高い」 100m深水温:7 ~18 「やや低い」～「極めて高い」</p>	<p>概ね平年並みで推移する。ただし、黒潮系暖水や混合水の波及状況の変化により、水温の変動が見られる。</p>	<p>水温予測モデル(自己帰帰モデル)の結果では本県海域の水温は概ね平年並みで推移すると予測された。 福島県海域には広く混合水が分布しており今後も本県海域に波及することが想定される。また、福島県北部海域には親潮から分離した冷水が存在しており、今後南下してくる可能性がある。 黒潮系暖水が断続的に沿岸方向波及しており、今後も波及する可能性がある。</p>	<p>特になし</p>
--------------------------------	--	--	---	--	-------------

各階級の水温年間偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+2.4 ~	+4.0 ~	+6.0 ~	+2.4 ~	+4.0 ~	+4.0 ~
高い(7.5%)	+1.6～+2.3	+2.5～+3.9	4.0～+5.9	+1.6～+2.3	+2.5～+3.9	+2.5～+3.9
やや高い(20%)	+0.7～+1.5	+1.0～+2.4	1.5～+3.9	+0.7～+1.5	+1.0～+2.4	+1.0～+2.4
平年並(40%)	+0.6～-0.6	+0.9～-0.9	1.4～-1.4	+0.6～-0.6	+0.9～-0.9	+0.9～-0.9
やや低い(20%)	-0.7～-1.5	-1.0～-2.4	1.5～-3.9	-0.7～-1.5	-1.0～-2.4	-1.0～-2.4
低い(7.5%)	-1.6～-2.3	-2.5～-3.9	4.0～-5.9	-1.6～-2.3	-2.5～-3.9	-2.5～-3.9
極めて低い(2.5%)	-2.4 ~	-4.0 ~	-6.0 ~	-2.4 ~	-4.0 ~	-4.0 ~